

# 公開講演 グローバル化とアメリカの覇権—そして、日米関係のゆくえ

2010年5月8日(土)

同志社大学一神教学際研究センター

五十嵐 武士(桜美林大学)

## はじめに. アメリカ発の三度目の国家的危機

1. 日本近現代史の三つの危機
  - イ. ペリーの来航—開国と国民国家の形成
  - ロ. 第二次世界大戦後の占領—民主主義の確立と冷戦
  - ハ. 世界経済危機—グローバル化の中での日本のゆくえ
2. グローバルかとは何か?
  - イ. ヒト・モノ・カネ・情報等の越境化と質量の拡大・迅速化
  - ロ. 国民国家の存立基盤の動揺と将来の展望?

## 二. アメリカの覇権とは何か?

1. 国際的主導権の背景と基盤
  - イ. 古典的な帝国との類似性—独自の文明による世界の創造
  - ロ. 建国以来の国際関係をトランスナショナル化する強い性向
  - ハ. 現代文明のライフスタイルの国際的な発信—ソフト・パワーの源泉
2. 国際的な覇権の展開
  - イ. 第二次世界大戦の戦後構想—国連とブレトンウッズ体制の創出
  - ロ. 冷戦と西側陣営の相互依存—陣営内経済発展の振興と民主主義の安定化
  - ハ. レーガノミックスとグローバル化の加速—「小さな政府」と国際競争の激化
3. バラク・オバマ政権登場の背景と政策革新の展開
  - イ. 唯一の超大国とグローバル・イシュー—破綻国家の出現とグローバルな危機
  - ロ. 三つの危機とレーガン革命の破綻—「テロとの戦争」と経済危機の惹起
  - ハ. オバマ政権による内政と覇権の再編—国家主導の経済対策と対外政策の軌道修正

## 三. 日米関係のゆくえ

1. 冷戦の終結と日米安保の再定義—防衛協力・中国取り込み・地域的安保対話
2. テロとの戦争と小泉内閣の大失敗—イラク戦争支持と中国との対立惹起
3. 中国の台頭と戦略環境の変容—中国の軍備増強と対中政策の模索
4. 普天間基地問題と鳩山内閣の命運?—内政の優先と戦略的方針の欠如

むすび. 日本の課題—グローバル化の中での日米安保体制と「東アジア共同体」構想